

You
can
do it !

かながわ みんなのSDGs

令和6年度 受賞パートナー

SDGsの取組を進めている又は

これから取り組もうという企業・団体等に対し、

ヒントとなるような取組を「見える化」することで、

SDGsの取組拡大を後押しするため、

かながわSDGsパートナーからSDGsに関連する取組を募集しました。

3回目となる今回は、41の企業・団体等から56事例が集まり、

特に他者の参考となると思われる6事例を表彰しました。

みんなのSDGs賞：2者

取り組みやすい事例をパートナー等による投票にて選定

神奈川県中小企業診断協会賞：2者

神奈川県中小企業診断協会が、
中小企業診断士の知見から社会課題への貢献度を評価

令和6年度より
新設

連携賞：2者

2者以上のかながわSDGsパートナーが連携して実施した取組について、
有識者等による審査会での評価を行い選定

かながわSDGsパートナーが行うSDGsに向けた取組のうち、下記の視点に一つでも該当する取組を募集します。

取組の視点	① ピぴっとくる	他の企業・団体等へのヒントあるいは取り組むきっかけとなるような内容であるか
	② 実施効果	組織、事業、人材、社会等に良い結果を与えているか
	③ 取り組みやすさ	他の企業・団体等において幅広くロールモデルとなるか
	④ 費用・労力	多大な資金、人材を要さずとも実現可能な取組であるか
	⑤ 継続性	自社の本業を通じた取組で企業価値（人材確保、ブランド力等）を高めているか



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

連携賞 ① 株式会社 明日葉 × 株式会社 デコリア

1 神奈川県・県西エリアを中心に44か所の放課後児童クラブが参加！ 黒板壁紙端材を使った「SDGs アート」制作

- デコリアが製造する黒板壁紙の端材をキャンパスにし、明日葉が運営する放課後児童クラブの児童が自分の暮らす街の魅力を描いた。
- デコリアと数か所でワークショップを実施。制作には小田原市をはじめ44か所のクラブが参加。夏休みに各地域間交流を目的にオンラインで互いの作品を発表。作品は「おだわらSDGsデイ2024」でも展示された。

3 児童がみんなで一つの作品を作り上げて共有し合うことで、自分たちの街を好きになるシビックプライドの醸成や、身近にある自然を大切にす気持ちや育む、リサイクル意識を高めるなど、SDGsへの学びを深めるため。

4 「(SDGsを)学ぶ」「描く」「シェアする」「発表する」という過程で作品を制作。SDGsを意識づけられるよう各過程で工夫をした。

5 前年度に対し交流が小田原市をはじめ南足柄、湯河原、山北、大磯、静岡県長泉町と5エリア拡大。作品数も約2倍。

6 デコリアが、明日葉の運営する放課後児童クラブにてワークショップを実施。成果発表として各地域のクラブを繋いで交流。



連携賞 ② 株式会社湘南貿易 × 大貫繊維株式会社

1 プラスチックと糸のアップサイクル体験でリサイクルをより身近に！

- プラスチックをアップサイクルしてキーホルダーを作るワークショップを企業へ提案・実施していたが、ストラップは既製品を購入していた。
- 企業連携で廃棄予定の糸からストラップ作り体験も実施することができるようになり、1つのワークショップで、プラスチックと糸のリサイクルについて伝えられるようになると共に、イベント受注費用も1.3～1.5倍向上させることができた。

3 プラスチックを溶かして様々な形に成形できるマニュアルインジェクション装置を自社購入し、PETボトルキャップ等からキーホルダーを作るなど廃プラスチックのリサイクル普及に力を入れてきたが、プラスチック以外のリサイクルも伝えられればより説得力があるのではと考え始めた。

4 ペットボトルのリサイクルで紐を作っている企業は何社あったが、よりエコな残糸をアップサイクルしてストラップや靴紐等の制作をしている大貫繊維をパートナーミーティングに参加した際に知り、ミーティングを重ね、一連でのワークショップが可能となった。

5 ストラップ作りもワークショップとして受注できるようになったので、1件あたりの売り上げが1.3～1.5倍に上昇。

6 プラスチックも糸も、どちらも参加者がものづくりを体験できる事が共通していた点。



かながわSDGsパートナーとは

SDGsの取組等を実施している企業・団体等を「かながわSDGsパートナー」として登録し、本県とパートナーが連携して取組等を行うとともに、パートナー間の連携を本県が後押しすることで、県内のSDGsに関する取組や事業を促進します。

メリット

- パートナーミーティングを通じたマッチング
- 県の中小企業制度融資による支援
- 県による対外的な広報・アピール
- 中小企業のSDGs経営支援
- 県施策に関する情報提供等

かながわ SDGsパートナー▶



問合せ先：神奈川県いのち・未来戦略本部室 SDGs 推進グループ
TEL：045-285-0909

かながわ みんなのSDGs賞 ①

NPO法人 海の森・山の森事務局

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果 / 5 効果 / 6 ポイント

企業規模：NPO / 業種：NPO / 地域：県内全域（海岸）

1 プラごみバスターズ事業

2

- 神奈川県**の海岸線およそ400kmを全て歩いてごみ拾い**を行った。
- 2020年4月に湯河原を出発し、毎月一回一筆書きのように実施した。およそ5年かけて、2024年12月多摩川河口にゴール。
- 今後は収集したデータに基づき、エリアを集中して活動していく。データは公開し、広く活用してもらう。

3

- メンバーは全員神奈川県に在住し、数十年も暮らしているが、県内の**海岸のごみの実態すらよく知らない**。
- そこで、神奈川県の海岸線を全て歩き、**ごみを拾いながら、プラごみ分布の実態を調査**した。また、ドローンも使って、海岸線の様子も撮影した。

4

- ごみを分別の上、計量し、ごみを見える化した。
- そのうえでデータを分析し、今後の取り組みを効率的に実践できるようにした。
- これにより、スピード感を持って、県内の海岸のごみを処理できるようになった。

5

- 回収したごみの総重量は**3トン超！**
- ごみの約7割が、半島部や人の入りにくい岩場・磯場に集中している。

6

- 今後、これらのデータを基に、行政や企業、諸団体と協働していく。
- 海岸美化にみんなで取り組む基礎ができた！**

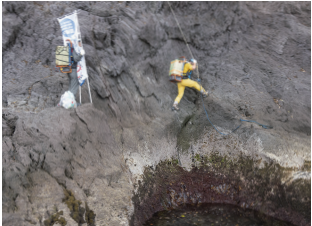
11 住み続けられるまちづくりを

14 海の豊かさを守ろう

17 パートナシップで目標を達成しよう







神奈川県中小企業診断協会賞 ①

株式会社 小池設備

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果 / 5 効果 / 6 ポイント

企業規模：中小企業 / 業種：建設業 / 地域：県央地域

1 若手の育成と独立支援で建設業を盛り上げる！

2

- 社内の慢性的人手不足、建設業界での若手人材確保の課題解決に向け、**最短6年で独立可能とするプロジェクト**を立ち上げた。
- 独立しても弊社のノウハウは全国で活かせることになり、ネットワークを広げられると考えた。
- 経験を積む中で、ここで頑張りたいと心機一転を考える若手も戦力になっている。

3

- 若手が少ない…。どの業種でも抱えている問題ではないでしょうか。特に私たち水道屋の多くが「廃業」に追い込まれている。会社がなくなれば社員、頼りにしていたお客様、地域が困る。
- そこに歯止めをかけるべく、**若手人材の育成・輩出に注力**。全国にネットワークができればと思い、プロジェクトを立ち上げた。

4

- 全国より10名の独立支援希望者を受入れ**。仕事やセミナー、勉強会を通じて、自身の夢やなりたい姿を見出している。
- 既存社員の刺激にもなり**離職率3%と定着率が上がった**。

5

1名がプロジェクトを卒業し、地元に戻り家業の後継者となる。**神奈川県で頑張りたいと奮起**し弊社の戦力として6名在籍。

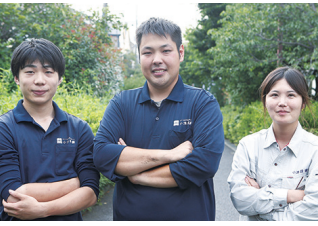
6

人材育成は「コスト」ではなく「投資」。社内全体の意識改革と採用理解へ努めることが経営のボトムアップになる。

5 ジェンダー平等を實現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

11 住み続けられるまちづくりを







かながわ みんなのSDGs賞 ②

一般社団法人 MilkyWay

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果 / 5 効果 / 6 ポイント

企業規模：一般社団法人 / 業種：福祉 / 地域：県西地域

1 あらゆるケアする人をケアする「ケアラー支援」

2

- 福祉等の知識や様々な経験を活かし、あらゆるケアする人をケアする「ケアラー支援」を行う。
- 本音と弱音が言える場づくり**としてのケアラーズカフェLuanaや講演会等を開催することにより、ケアラーは自己認識しサポートを求めることができ、一般の方はケアラーの理解を深められる。
- 誰もが誰かをケアできるまちづくり**を行っていく。

3

- 少子高齢化、核家族化が進む中、課題は複雑化している。障がい者や高齢者など当事者への支援はあるが、**ケアする側の支援はなく疲弊・孤立する姿がある**。
- 福祉等の人手不足は深刻で介護崩壊の危機も耳にする。
- 今後、ケアする人達の負担はさらに大きくなり、ヤングケアラーや介護離職などの課題が常態化することが危惧される。

4

- ケアラーズカフェを月1回開催**。ケアラーに関する講演会、映画上映会等を行う。
- チラシや広報誌等を公共機関、病院、店舗等に配架。支援団体の**ネットワークづくり**を行いコンサートやバザーでは幅広い層にケアラー支援を伝えている。
- ※令和7年10月からオンラインでのケアラーズカフェ「ケアラーズカフェLino」を開始する予定。

5

ケアラーズカフェの横の繋がりとして連携2箇所。ケアラーズカフェLuanaで会員を含め11月迄に**延べ98名の参加実績！**

6

ヤングやビジネスなどのケアラーのほか、ケアの仕事をする人や従業員のケアが必要とされる責任者等も含まれる。

3 すべての人に健康と福祉を

5 ジェンダー平等を實現しよう

10 人や国の不平等をなくそう







神奈川県中小企業診断協会賞 ②

一般社団法人 エコ再生紙振興会

1 タイトル / 2 概要 / 3 動機 / 4 解決に向けた具体策・成果 / 5 効果 / 6 ポイント

企業規模：一般社団法人 / 業種：その他 / 地域：県内全域

1 子どもたちの手で！書道紙リサイクルプロジェクト

2

- 学校等の授業で出る使用済み書道紙を子ども達の手により集め、それらを回収して『未来箋』に再生化、再び授業の中で子どもたちの手に還していく**資源循環型のリサイクル活動**。
- 校内の書道紙ごみゼロは、各自治体のゴミ問題にも貢献でき、ものを大切にする啓発にも寄与し、**教科書にも掲載される活動に発展して、全国に広まっている**。

3

- 古紙リサイクルにおいては、墨のついた書道紙は回収不可品の扱いで、そのほとんどが可燃ごみとなっていた。
- ゴミ削減の現代社会で、書道文化が適応していく為には、書道紙の再生の仕組みが不可欠と考えた。
- 神奈川全域の自治体への提案の停滞が課題。

4

「授業等で練習する書道紙はグレー※ではだめですか？」と教育機関に投げかけた。すると「環境に配慮したグレーならば可！」の多くの声から一気に広まった。

※完全な脱墨は難しく、仕上がる再生紙は淡いグレーになる。

5

神奈川西部地域1市8町の全小学校で『未来箋』の授業が実現。書き初めも『未来箋』の活用が進んでいる。(実績12年：**毎年約3トンのごみ削減**と有効活用)

6

次代への環境社会に根ざした書道文化の継承が主たる目的だったが、**環境教育の側面としても評価**されている。

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任





